

Cisco License On-Prem(CLP)導入環境内でデバイスを登録するにはどうすればよいですか。

はじめに

このドキュメントでは、Cisco License On-Prem(CLP)導入環境内でデバイスを登録する手順の概要を説明します。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクティブなシスコスマートアカウント
- 関連するスマートアカウントまたは仮想アカウントへのアクセス権を持つ、有効なCisco.com(CCO)ユーザIDとパスワード。
- Cisco License On-Prem(CLP)ポータルへの管理者アクセス

手順

オンプレミスへのSLデバイス登録：

ステップ1：デバイスを登録するには、CLPポータル内でトークンを作成します。次のガイドを参照してください。

[Cisco License On-Prem\(CLP\)導入でトークンを作成するにはどうすればよいですか。](#)

ステップ2：製品インスタンスを設定します。登録方法（CLIまたはGUI）は製品によって異なるため、Cisco License On-Premサーバとの通信を設定する手順については、個々の製品マニュアルを参照してください。

ステップ3：「Ping」コマンド（必要な場合）を使用して、デバイスとオンプレミスサーバ間のネットワーク接続を確認します。

ステップ4：デバイスでregistrationコマンドを実行します

- CLI: 「license smart register idtoken <上記のステップ1で生成したトークンを貼り付けます>」
- GUIベースの製品の場合は、「製品インストールガイド」を参照して、トークンを使用してデバイスを登録します。

ステップ5：「show license all」コマンドを使用して登録ステータスを確認します（該当する場合）。

ステップの結果：「登録」列に、登録のステータスが「登録済み」と表示されます。

ポリシー(SLP)/CSLUデバイスを使用したスマートライセンスの登録

ステップ1：製品インスタンスを設定します。CLP環境との通信を設定する手順については、個々の製品マニュアルを参照してください。

トランスポートURLの取得（オンプレミスGUIのシスコライセンスから）

ステップ2: Cisco License On-Prem(CLP)ポータル（[https://\(IPアドレス\):8443/admin/#/mainview](https://(IPアドレス):8443/admin/#/mainview)）にアクセスします

ステップ3: 左側のメニューからライセンスワークスペースに移動します。

ステップ4：オンプレミスアカウントタブに移動し、デバイスを登録するアカウントを選択します。

ステップ5:Devicesタブに移動します。Device ConnectionsでConfigure Device and Token Managementを選択します。

ステップ6:CSLU Transport URLフィールドを見つけて、Copyボタンをクリックします。このURLは、製品インスタンスでトランスポートタイプを設定するために必要なので、保存します。

ステップ7：製品インスタンスでトランスポートタイプとURLを設定します。[Setting the Transport Type, URL, and Reporting Interval](#)の詳細は、製品の構成ガイドを参照してください。
(『設定ガイド』を参照)

使用状況の初期同期

ステップ1：製品インスタンスをCLPポータルと同期します。

- 製品インスタンスのCLIで、特権EXECモードでlicense smart sync {all| local}と入力します。



注：ユーティリティモードが有効な場合、CLPに送信されるRUMレポートにはフラグが付けられます。

ステップ2:CLP UIのステータスを確認します。Licensingタブ> Choose On-Prem Account > Devices > Device Inventoryの順に移動します。使用状況レポートのステータス列には、「デバイスからの使用状況レポート」と表示されます。

手順3：最終的な同期を実行して、すべてのデータが反映されていることを確認します。

使用状況情報をオンプレミスと同期します。

この操作を実行するには、次をクリックします。「[Cisco License On-Prem\(CLP\)とCisco License Central\(CLC\)を同期するにはどうすればよいですか。](#)」

ステップの結果：製品インスタンスとライセンスの使用状況の情報がCLPポータルに表示されます。

トラブルシューティング

Q：デバイスがOn-Prem/CSLUアプリケーションに使用状況レポートを送信する頻度はどのくらいですか。

A：デフォルトでは、デバイスは30日ごとに使用状況レポートを送信します。ただし、デバイスでlicense smart sync allコマンドを実行することにより、いつでもデバイスからオンプレミス/CSLUアプリケーションへのレポートを手動でトリガーできます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。